

## 【足立区地域自立支援協議会子ども部会】会議概要

会 議 名	令和5年度 【第1回足立区地域自立支援協議会子ども部会】
事 務 局	福祉部 障がい福祉センター
開催年月日	令和5年6月27日（火）
開催時間	午後2時00分 ～ 午後4時00分
開催場所	障がい福祉センター 5階 ホール
出席者	小谷 博子部会長 佐藤 奈緒委員 寺山 早苗委員 相澤 まり子委員 川松 佳緒里委員 相澤 政子委員 梶原 里美委員 五十嵐 雅美委員 古里 宏子委員 設楽 寧子委員
欠席者	小長井 亜希子委員 酒井 康年委員 辰田 雄一委員 橋本 太郎委員 山本 克広委員
会議次第	1 開会 障がい福祉センター所長挨拶（代理：浅輪係長） 委員紹介 事務局紹介 経過報告 2 議事 （1）部会長挨拶 （2）講演「こども家庭庁開設に伴う今後の子ども施策について」 講師 東京未来大学こども心理学部 准教授 小谷博子部会長 （3）協議 （4）第2回の議題について （5）事務連絡 3 閉会
資料	1 こども部会次第 2 令和4年度こども部会活動報告書、令和5年度活動計画書（両面刷り） 3 講演会レジュメ 4 各委員所属機関のパンフレット等
その他	公開状況：公開 傍聴：1名

## 様式第2号（第3条関係）

### 1 開会

#### 【司会】

皆様、こんにちは。定刻より少し早めですが、お集まりいただきましたので、始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日はご多用のところ、お集まりいただきありがとうございます。私は司会を務めます障がい福祉センター幼児療育係長の杉山です。よろしくお願いたします。

本日は今年度第1回目の部会となっております。皆様活発なご意見をお出しいただければと思います。

#### —資料確認—

はじめに、資料の確認をさせていただきます。

- (1) 第1回子ども部会次第
- (2) 活動報告書、活動計画書
- (3) 講演会レジュメ
- (4) 各委員所属パンフレット

となっております。資料の不足等ございませんでしょうか。

なお、この自立支援協議会は発言等会議内容及び発言者名などを後日議事録として公開いたします。また議事録作成のため、録音をさせていただきます。ご了承願います。

本日障がい福祉センター所長は公務により欠席のため、代理の幼児療育支援担当係長、浅輪よりご挨拶をさせていただきます。

#### 【浅輪（障がい福祉センター）】

皆様、こんにちは。令和5年度足立区地域自立支援協議会子ども部会にご参加いただきまして、ありがとうございます。本来なら所長の山本よりご挨拶申し上げますところですが、公務のため残念ながら欠

席ということなので、代わりまして私からご挨拶させていただきます。この自立支援協議会子ども部会は2年を1サイクルといたしまして、今年はその2年目にあたるということで、このメンバーで協議してまいりましたことを形にし、提言という形でごなげていけたらと思っております。また、本日は小谷部会長より子ども家庭庁についてお話しいただけるとということで、それをもとに後半は活発な意見交換をお願いできればと思っております。本日は傍聴の方もいらっしゃいます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【司会】

それでは次に、委員の紹介に移ります。新しい方もいらっしゃいます。こちらでご所属とお名前を申し上げますので、お立ちいただければと思います。よろしくお願いいたします。

はじめに、子ども部会部会長、小谷博子先生です。東京未来大学子ども心理学部准教授、医学博士、育児工学専攻でいらっしゃいます。この後、子ども家庭庁開設についての講義をしていただきます。次に、足立区手をつなぐ親の会、会長でいらっしゃいます佐藤奈緒委員、続きまして、足立つくし幼稚園園長、寺山早苗委員、ハートぽっぽEAST相澤まり子委員、一般社団法人ねっとワーキング、川松佳緒里委員、民生・児童委員、相澤政子委員、足立区立本木保育園園長、梶原里美委員、都立北療育医療センター城北分園、課長代理、五十嵐雅美委員、都立花畑学園、コーディネーター、古里宏子委員、千寿常東小学校教諭、設楽寧子委員。

ありがとうございました。

次に、子ども部会事務局を紹介いたしま

す。改めまして、私は障がい福祉センター幼児療育係長の杉山と申します。よろしくお願いいいたします。

【藤ノ木（障がい福祉センター）】

障がい福祉センター幼児療育担当係長の藤ノ木と申します。よろしくお願いいいたします。

【浅輪（障がい福祉センター）】

障がい福祉センター幼児療育支援担当係長の浅輪と申します。よろしくお願いいいたします。

【和田（障がい福祉センター）】

障がい福祉センター地域生活支援担当係長の和田と申します。こちらの川上とともに本会議の事務局を担当させていただいております。よろしくお願いいいたします。

【司会】

今回、傍聴席にいらしております方、自己紹介をお願いいたします。

【傍聴】

初めまして、自立援助ホーム清周寮の鈴木と申します。児童福祉分野から参加させていただいております。障がい分野との連携は必須だと思っております。

自立援助ホームですが、義務教育終了からおおむね20歳までのお子さんたちが生活し、働きながら自立を目指すという施設になっております。知的障がいのお子さんも多く、連携の道を探れたらと思っております。よろしくお願いいいたします。

【司会】

ありがとうございました。

次に、経過報告をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。こちらをご参考にいただければと思います。また、足立区のホームページにも議事録が載ってお

ります。どうぞご覧ください。

## 2 議事

【司会】

続きまして、議事にうつらせていただきます。

今回、「こども家庭庁開設に伴う今後のこども施策について」ということで、こども部会の部会長である東京未来大学の小谷先生よりご講演をいただけるということになりました。この後、よろしくお願いいいたします。まずは、ご挨拶からお願いいたします。

### (1) 部会長挨拶

【小谷部会長（東京未来大学）】

みなさん、こんにちは。東京未来大学こども心理学部で准教授をしております、小谷と申します。いつも学生たちがお世話になっております。自立支援協議会こども部会に加えさせていただいて、私も勉強させていただいております。また、これを通じていろいろなところとネットワークが繋がってきているところです。

### (2) 講演

「こども家庭庁開設に伴う今後の子ども施策について」

講師 東京未来大学こども心理学部  
准教授 小谷博子部会長  
(講演部分 省略)

【司会】

ありがとうございました。

ここでみなさまからのご質問を受けていきたいと思っております。

質問がないようですので、ここで一旦休憩をはさみ、そのあとに改めて協議という形をとりたいと思っております。

(休憩) ~座席変更~

### (3) 協議

【小谷部会長（東京未来大学）】

時間になりましたので、会を再開いたします。改めまして、皆さんから自己紹介と、先ほどの講義の内容に関することや、現場のことなどを含めてお話していただければと思います。

【相澤(ま)委員(ハートぽっぽEAST)】

こんにちは。ハートぽっぽEASTの相澤と申します。

ハートぽっぽEASTは主に都立花畑学園の肢体不自由のお子さんが通所される放課後等デイサービスで、1日定員10名でサポートをしています。よろしく願いたします。

【寺山委員（つくし幼稚園）】

つくし幼稚園の園長、寺山です。よろしく願いたします。当園にも手帳はなくても通所に必要な受給者証を持っている方が何名かおります。統計は取っていないのではっきりとはわかりませんが、30名のクラスで個別の指導が必要な、と感じているお子さんは3名ほどです。

コロナもあり、外との関係がもてない中、このお子さんのこの様子は環境的なものなのか、それとも、お子さんが持っている特性なのか、この2年間は非常に迷うことが多かったところ。プレの教室でかかわり、様子を見させてもらって、あしすとに相談してみてくださいとか、お医者さんに診てもらってくださいと案内しています。そういうことでつながりを持っているところです。

【川松委員（ねっとワーキング）】

ねっとワーキングの川松と申します。よろしく願いたします。2016年からペアレント・メンター事業を区の委託事業

として行っていて、今年で8年目になります。昨年の11月に養成研修を行い、親の会の佐藤会長にも入っていただき、今、37名の方が登録してくださっています。知的障がいのない発達障がいのお子さんや、知的障がいもあるお子さんをお持ちの保護者が多いです。

私どもは青井の事務所で10時から17時まで相談支援をしています。年に2回ほどの出張相談や、今年度はこども支援センターげんきの1階で毎月相談会を行っております。

【小谷部会長（東京未来大学）】

ありがとうございます。参加者はやはり親子での参加が多いのでしょうか。

【川松委員（ねっとワーキング）】

私どもは親支援ですが、中には小さなお子さんがいらして、下のお子さんの託児も1週間前までの予約制で、青井の事務所にて有料で行っています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

相談にいらっしゃる方のだいたいの年齢層はどのようになっていますか。

【川松委員（ねっとワーキング）】

お子さんの年齢でいうと下は2歳から、だいたい30歳代くらいまでです。

【小谷部会長（東京未来大学）】

ありがとうございました。

【相澤（政）委員（民生児童委員）】

初めて参加させていただきます、民生・児童委員の相澤と申します。足立区の児童館に29年間勤めまして、去年から発達障がいのお子さんたちのデイケアのパワフルキッズで仕事をさせていただいております。今回、民生の方でこの会のお話をいただき、すぐに手を挙げて私がやります、というこ

とで来させていただいております。いろいろなことを勉強したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【小谷部会長（東京未来大学）】

パワフルキッズでの、主な業務内容は何かですか。

【相澤（政）委員（民生児童委員）】

お子さんたちの送迎などです。小学生から高校生までのお子さんがあります。

【杉山（障がい福祉センター）】

杉山と申します。足立区の障がい福祉センターあしすとの幼児発達支援室にいます。幼児発達支援センターのパンフレットも新しく、見やすくなりましたので、ぜひご覧いただきたいというふうに思っております。

【小谷部会長（東京未来大学）】

こども家庭庁の開設にあたり、足立区での区民への周知など具体的な部分はどのような状態なのですか。

【杉山（障がい福祉センター）】

通知など、こども家庭庁から来ることはありますが、実際にどういうことなのかは具体的にはっきりとはなっていない感触です。これからだと思います。

【浅輪（障がい福祉センター）】

幼児発達支援室の浅輪と申します。今のお話ですが、法律の改正に伴い、これからいろいろなことが整備されていくところです。こども家庭庁ができ、縦割りの弊害を解消していけることを期待しています。実際に「こどもまんなか」という位置づけでスピード感をもって切れ目のない支援がコンセプトですが、ただ実際にいつも課題になるのは文部科学省管轄との切れ目、就学前と学校、義務教育年齢終了後の切れ目はあるので、例えば足立区モデルのようなものを

作って、このように乗り越えています、という提言ができたらいいな、と思います。

【小谷部会長（東京未来大学）】

私たちの、このような会の中で出せるよう、ぜひやっていきたいですね。皆様、よろしくお願いいたします。

【設楽委員（千寿常東小学校）】

初めまして、千寿常東小学校の特別支援学級を担当しております、設楽と申します。本校は今、9名の児童が在籍しております。医療的ケアの必要なお子さんも含まれます。

保護者の付き添いなしの通学について学校、医療機関、こども支援センターげんきとで調整しているところで、今年度から、日常の介助の部分で、喀痰吸引等研修(第三号研修、以降「三号研修」と表記)を受け資格を取った医療機関の介助の方が医療的ケアのお子さんについてくださることになりました。緊急の対応が必要となったときには、家族、医療、地域拠点の公立保育園の看護師との連携で行う体制です。徐々にお母さんが学校に来る回数を減らしていくという取り組みで、全国初の試みということですので、協力しながらやっていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

【梶原委員（本木保育園）】

こんにちは。今年2年目でお世話になっております、足立区立本木保育園園長の梶原と申します。当園は107名の在籍で、発達支援児は数名です。こども支援センターげんきや、障がい福祉センターあしすとに通って支援を受けているお子さんがいますが、なかなか予約が取れない、という話を聞きます。放課後等デイサービスも今から探している保護者の方もいらっしゃいます。

皆さんの中でお話を聞いて中に入って一緒に考えていけたらと思っております。

【古里委員（都立花畑学園）】

こんにちは。都立花畑学園でコーディネーターをしております、古里と申します。本校は知的障がい教育部門と、肢体不自由教育部門とがありまして、それぞれ小学部、中学部があります。肢体不自由教育部門は135名、知的障がい教育部門は276名で、現在の在籍が411名となっております。知的障がい教育部門のお子さんが年々増えていて、教室が足りない状態です。

医療的ケアのお子さんですが、人工呼吸器の必要なお子さんも近年は増えています。知的障がいのお子さんにはじっとしてられないお子さんもいて、そのお子さんが教室を走り回る中で、胃ろうのお子さん、気管切開のお子さんへの対応も必要となっている状況です。

学校では最近プールが始まり、子どもたちは楽しみにしています。室内プールなので雨の心配はいりませんが、暑くなりすぎて入れず、残念ということがあります。学校の様々な行事がコロナ禍から収束後の取り組みに移行しているところです。

【五十嵐委員（都立北療育セ・城北分園）】

都立北療育医療センター城北分園の五十嵐といいます。よろしく申し上げます。施設紹介のパンフレットを用意しましたので、皆さんに見ていただければと思います。中には通所の案内と、保育所等訪問支援についてもあります。

児童福祉法の改正で、児童発達支援センターの福祉型、医療型についてどうなっていくのか心配です。これまで、PT、OT、医師、看護師を揃え、肢体の方の支援をして

きましたが、報酬も含めた枠組みがどうなっていくのかということ、また、18歳で高等部を卒業された後の生活介護の需要は高まっています。

【佐藤委員（足立区手をつなぐ親の会）】

足立区手をつなぐ親の会の会長をしております、佐藤と申します。知的障がい者の親の会ですが、知的障がいの方は足立区には6000人くらいいらっしゃるようで、その中の800人弱の方が入会なさっております。65周年を迎え、高齢の方が多くなっています。お子さんで言いますと、あしすとひよこや、うめだ・あけぼの学園、都立花畑学園や、足立特別支援学校は委員会に毎月出席してくださっていますので私もいろいろな方からのお話を聞く機会もございます。

障がい者の権利条約について勉強させていただきましたが、子どもの権利条約については少し違うな、ということも勉強させていただきました。こども家庭庁と同時にこども基本法もできたことは全然知らなかったことです。

医療的ケア児支援法では、成人は対象になるのでしょうか。

【小谷部会長（東京未来大学）】

成人は対象外です。18歳超えたら大変で、学生時代はよかった、という声もよく耳にします。放課後等デイサービスを知らない世代、利用できなかった世代の方と意識の差もありますね。

【佐藤委員（足立区手をつなぐ親の会）】

児童福祉法の改正で児童デイサービスから放課後等デイサービスになる際に、所管も変わり、開設に補助金も出るようになり、増えていきました。利用日数も10日まででしたが23日、毎日でも可能、と増えてき

ました。

【小谷部会長（東京未来大学）】

毎日放課後等デイサービスの場所が変わるので大変ですよね。

【古里委員（都立花畑学園）】

毎日同じ場所に行くわけではない方もいらっしゃるのですが、教員もバスに乗せ間違えないように必死になっています。連絡帳に場所の記入漏れなどもあるので、間違いの起こらないようにしています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

今、障がい福祉センター所長がいらっしゃいましたので、お話していただきましょう。

【山本委員（障がい福祉センター）】

流れを止めてしまうようで、申し訳ありません。別件で最初からの参加はできませんでしたが、別件が終了いたしましたのでここから参加させていただきます。会の冒頭での説明だったと思いますが、自立支援協議会本会議での議題を活発にいただきまして、ありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。

【小谷部会長（東京未来大学）】

こども家庭庁ができてから、足立区として何か変化などありましたでしょうか。

【山本委員（障がい福祉センター）】

期待されて作られた省庁として認識しておりますが、移管への影響について今のところ目に見えるものは感じません。厚生労働省のものがこども家庭庁になったことで、すでにある印刷物の書き換えなどをしています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

ありがとうございました。

学校関係の委員の参加も多い中で、せつ

かくの機会ですので、学校と放課後等デイサービスとの連携についてお話しできればと思います。

【古里委員（都立花畑学園）】

放課後等デイサービスとの連携ですが、担任には1日の流れをしっかりと引き継ぐように、と申し送りをしています。ただ、足りないところもあるかもしれません。

【相澤（政）委員（民生児童委員）】

今日は給食をたくさん食べました、とか、おトイレを何回行きました、など聞きますと、自分の子のように「ありがとうございます。」と先生に言うてしまうこともあります。短いけれども一人一人に丁寧に応じ送りされていて、十分だと感じています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

花畑学園は気管吸引の研修にも多くの教員の参加もあり、非常に熱心になされていますね。医療的ケア児の多い中、三号研修などの機会もおありなのでしょうか。

【設楽委員（千寿常東小学校）】

本校の教員は、今のところ三号研修は受けてはいません。もしも何かあったときの対応として介助員の先生だけがいらっしゃるときは119番通報で対応します。千住あずま保育園の看護師がカニューレを入れていただけるので同時に呼び、保護者の方にも連絡し、緊急体制をとることになっています。まだこのような事態になったことはないです。

【古里委員（都立花畑学園）】

医療的ケア児の受け入れについて、そのお子さん全体を見たときに、特別支援学校のお子さんではないな、というケースもあります。どうしても特別支援学校はお子さんよりも対大人が多くなり、子どもの中に

いて育っていく部分もある中、少し違うと  
感じることもあります。

【小谷部会長（東京未来大学）】

保育園でも医療的ケア児の受け入れが始  
まっていますが、どうですか。そのお子さん  
が大きくなってそれぞれ学校にも行くよう  
になりますが、いかがですか。

【梶原委員（足立区立本木保育園）】

医療的ケア児の受け入れは、現在3園で  
行っています。千住地区、綾瀬地区と大谷田  
の方です。公立保育園の看護師が出向いた  
り、在駐したりと様々です。今年から始ま  
ったことですので、しっかりと連携してや  
っていくように準備しています。

【古里委員（都立花畑学園）】

今は当たり前になっていますが、何かを  
作る時には様々な方の様々な考え方があ  
って、過去にはこれは教員の仕事ではない  
のではないか、などの意見も出されたこと  
もあり、混乱期なのかとも感じます。そう  
いったことを超えて、制度としてきちんと整  
う社会になるといいです。

（4）第2回の議題について

【小谷部会長（東京未来大学）】

では、残り時間も少なくなってきました。  
今年度のテーマについて決めていきたいの  
ですが、メンバーも変わったところで、要望  
などありますか。

【浅輪（障がい福祉センター）】

皆様それぞれの立場でお考えいただい  
ているところですが、いろいろな事業を展開  
して就学前の障がいをお持ちのお子さんや、  
発達に偏りや遅れをお持ちのお子さんにな  
るべく多くの支援をとメニューをそろえて  
いても、時代や保護者のニーズと合わなく  
なってきたところもあります。そこで、足立

区にもっとこんな支援があればいいなとい  
うこと、もちろん私どもですべてできるわ  
けではないので、皆様のお力をお借りして  
新しく作っていかねばならないことも  
あるのかと考えますが、現在行っている支  
援の枠を少し広げることで、できることが  
あればと思います。

【寺山委員（つくし幼稚園）】

医療的ケア児の受け入れについての定義  
など考えると、受け入れようにも現状では  
難しさがあります。公立保育園の看護師が  
拠点方式で出向くということも、幼稚園で  
受け入れるとなると考えなければならない  
ことも多いと思います。あしすとの支援も  
様々なメニューがあるけれど、なかなか予  
約が取れない、定員が限られていて利用で  
きない、など課題もあります。それぞれの支  
援を洗い出し、すでに行っていることを横  
展開できるものはないか、このようにうまく  
連携しています、というモデルを足立区  
で発信していけると良いと思っています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

今回は、それぞれお持ちの課題を教え  
ていただきたいです。支援の連携を目指し、コ  
ロナがあってそれまでの支援の仕方も変わ  
ってきていることもあるので、改めて現状  
のすり合わせをしていき、その中で課題を  
出し合うことはいかがでしょうか。また、医  
療的ケア児の受け入れ等にあたり、現在利  
用できる場所や、つながっているサービ  
スについても情報共有していきたいです。

（5）事務連絡

【司会】

小谷部会長、委員のみなさまありがと  
うございました。次回、第2回自立支援協議会  
こども部会は9月5日火曜日14：00か

ら16:00となっております。

会議議事録につきましては、事務局で案を作成いたしまして委員の皆様には後日お送りします。ご確認いただいて、お戻しいただいたものをもとに修正し、足立区ホームページに掲載させていただきます。

### 3 閉会

#### 【司会】

以上をもちまして、令和5年度第1回足立区地域自立支援協議会こども部会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。お帰り際にはお忘れ物などないようお気をつけください。